

9月12日 OB・OG座談会ダイジェスト



9月12日に、現在、中学生・大学生になったOB・OGが来校しました。インリッチドクラス在籍時の経験や思い出、その後の進路についてなどをありのままに語ってくれました。

座談会の内容を通して、インリッチドクラスの魅力について少しでも触れていただけますと幸いです。

座談会に参加してくれたOB・OG



2018年度卒業生
HHさん

G1からG6まで在籍。スポーツ全般が大好きで、昼休みにはグラウンドを駆け回っていたことが何よりも楽しかった。リーダーシップを発揮し、下級生ともよく遊んでいた。現在は関東にある大学の商学部に進学。



2018年度卒業生
RKさん

G1からG6まで在籍。インリッチドクラスの一番の思い出は下級生に教え、全校での一体感を味わうことができたソーラン節。現在は関東にある大学のグローバル学部に進学し、オールイングリッシュで授業を受けている。



2016年度転出生
RSさん

G1からG4まで在籍。日本に帰国後、公立小学校を経て、中高一貫の私学へ進学。高校1年生の時に本校国際部に1年間留学し、英語の表現力により一層の磨きをかける。現在は関西にある大学の国際学部に進学。



2023年度卒業生
HKさん

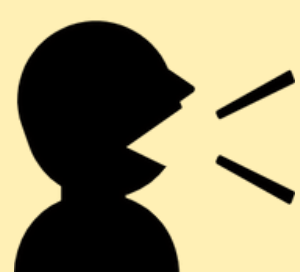
G1からG6まで在籍。インリッチドクラス卒業後、SLASの国際部に進学。自分の好きな分野に合わせて選択できる授業に魅力を感じている。毎日全ての授業を英語で受けるため、英語力の伸びを強く実感中。



2024年度卒業生
SSさん

G1からG6まで在籍。Musicクラスをきっかけに、今では特技の欄に「アルトサックス」と書くほどにサックスを好きになる。中学進学の際にも、楽器の授業ができることを重視し現在は関西にある中高一貫の私学に進学。

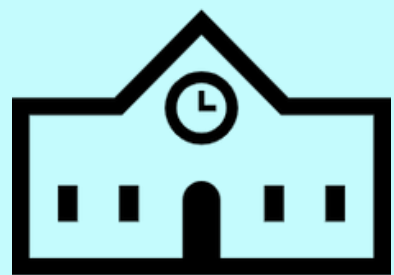
座談会で出てきたトピック



1

本校ならびに帰国後の英語学習について

- ・外国人教員が教えてくれる英語クラスで英会話スキルが身に付きました。英語でのやり取りが日常的だったので、違和感なく「自分はすらすらとコミュニケーションをとれている。」と感じていました。毎日いろんな先生からの指示を聞いていたのでリスニング能力が伸び、よく聞き取れるようになりました。今でも英会話に困ることは少ないです。
- ・レベル別の少人数授業で先生に当てられて発表する機会が毎日のようにありました。その経験から、今でも授業に積極的に取り組み、楽しみながら発表できています。みんなが苦労しているエッセイにも自信をもって取り組めたり、授業外でも英語の先生との会話が弾んだり、英語の授業で培った力を生かしていることがとてもうれしいです。
- ・外国人教員の英語に毎日触れていたためリスニング能力が伸び、英検などの試験には特別な対策をせずに取り組むことができたり、大学受験で英語を活用したりできました。今後も含め、自分の武器になっていると感じています。
- ・インリッチドクラスで伸ばした英語力を帰国してからでも落とさないことが課題でした。日本ではどうしても英語を使う機会が減ってしまうため、英会話教室に通ったり、学校のネイティブスピーカーの先生と積極的に話す機会を意識的に設けたりすることで、英語力を維持するようにしています。



2

進路選択で重視したこと

- ・インリッチドクラスで過ごした6年間は本当に楽しく、あっという間に過ぎました。そのため、進学の際には中高でも6年間同じ仲間と長く過ごしたいと考えました。親の「日本で中高を過ごしてほしい」という思いもあり、日本の中高一貫校に進学しました。現在は大学で英語の能力を生かして学んでいます。
- ・上海での中学校の進学を考えたとき、現地のインター校にも惹かれましたが、慣れない環境やオールイングリッシュの授業などに抵抗があり、多くの友だちが進学する日本人学校に進学しました。英語に対しての興味が強くなった今となつては、インター校に進むのも良かったのではないかと感じています。
- ・自分に合った学習方法を考えたときに、集中できる少人数制、英語に特化した学習プログラムがある日本の中高一貫の私学に進学しました。家から近いことも、決め手の一つです。
- ・ハロウィンやInternational Festivalなど、SLASでも行われていた魅力的な行事や、英語・音楽をはじめとした授業で楽しそうなカリキュラムがあるかなど、日々のモチベーションになるかどうかを重視して日本の中高一貫の私学に進学しました。
- ・なじみ深い校舎で選択式の授業を受けられることに魅力を感じ、SLAS国際部に進学しました。今は将来の夢につながる分野を英語で学べていることがとてもうれしいです。



3

本校で身に付いたこと

- ・授業の中で、調べること、まとめること、発表することの基礎や積極性が身に付きました。中学生になった今も積極的に授業に参加し、楽しく学習しています。
- ・学年、クラスの人数が少ないインリッチドクラスでは、学年や性別の垣根を越えて、いろいろな人たちと仲良くしていました。その経験から、新しい環境でも臆することなく、積極的に友だちを作ることができています。
- ・行事が多く、運動会や委員会、ハウス活動（縦割り班）などで幅広い異学年交流ができました。学年が上がるにつれて、リーダーシップを発揮する機会が増えたため、インリッチドクラス全体を引っ張るリーダーとしての自覚が芽生え、責任感が強くなりました。



5

今になって思うこと

- ・英語の授業では一番下のレベルに属していて、周囲と比べ落ち込むこともありました。けれど、帰国後に通った学校では自分の英語力がトップレベルであることに気付き、インリッチドクラスで学んだ英語のレベルの高さを実感しました。周りと比べて悩むことはあっても、積み重ねた努力は消えません。今なら当時の自分に「胸を張って良いんだよ。」と言ってあげられると思います。
- ・今、大学で中国語を勉強するようになって苦労しているので、せっかく上海にいたのなら、中国語も勉強しておけばよかったなと思います。



6

課外授業や習い事

- ・SLASの課外授業であるアフタースクールで、運動系のクラスに参加していました。クラスの中で国際部の友だちとコミュニケーションを行うことになるので、そのときに運動技術と一緒に英語力が伸びたのを実感しました。
- ・サッカー・水泳・ピアノなど、上海にはいろいろな習い事があったので、親と相談しながらやりたい習い事を決めていました。
- ・中学受験を考え、3年生の頃から塾に通っていました。中には日本人学校の予定に合わせている塾もあり、下校時間や行事の日程などの違いから、通うことが負担に感じることもありました。その後、予定調整が簡単な少人数制の塾に移り、ストレスなく楽しく通えました。



4

学校生活の思い出や交友関係

- ・授業や休み時間・行事などの毎日の学校生活が楽しく、「もう学校が終わっちゃうの!？」と感じていました。
- ・行事の中でも運動会でのソーラン節や応援団の経験・学校での宿泊学習など、インリッチドクラスの友だちと過ごした掛け替えのない時間が一番の思い出です。
- ・経験豊富で自分の生き方がある先生が多く、様々な経験談を聞くことができました。そんな先生たちのお話を聞いて、自分の人生でも参考になると思い、モチベーションが高まったのを覚えています。
- ・当時を一緒に過ごした友だちとは、離れ離れになった今でも仲が良く、連絡を取り合ったり、長期休暇の時は互いに訪ね合ったりと、交流が長く続いています。





7

上海と日本の生活の違い

- ・日本では一人で外を出歩けるようになったことがうれしかった反面、暮らしの中でのマナー感覚が違うことがあり、慣れるまでは苦労しました。
- ・日本では外遊びをする場合、ボール遊びやキックボードが禁止されているところが多く、満足に遊べないことがありました。上海と同じように日本でも伸び伸びと遊べると思っていた当時の私にとってかなりの衝撃でした。



8

上海と日本の学習の違い

- ・日本の小学校に編入した際には、時期による単元のずれがありましたが、それ以外に関しては既習事項にも漏れがなく、周囲との学力の差は感じませんでした。
- ・英語にたくさん触れていく中で英語力を磨いていくインリッチドクラスの学習方法から変わり、日本独特の文法に重点を置いた英語の学習方法に慣れず苦労しました。慣れないうちは文法的・発音的に何が正しいのか、意識し過ぎて悩むこともありましたが、英語の力が衰えているとは感じませんでした。

その他のご質問など

こちらでは、いただいた質問や気になることに日本人職員が回答します。



入学前や在学中の英語学習について

- Q. 新1年生の入学に必要な英語力はどれくらいですか。**
- A. アルファベットの大文字、小文字や、動物や食べ物などの名詞・動詞がいくつか書くことができるように、ご準備をお願いいたします。
- Q. 学校での日本語と英語のバランスを教えてください。**
- A. 英語の学習を進める上で、母語となる日本語力の育成が大切だという思いから、毎日45分x4時間の授業やホームルーム、昼休みの時間などで日本語を使っています。また、毎日45分x3時間、オールイングリッシュでの授業を行っています。
- Q. 学校での英語学習の特徴を教えてください。**
- A. 毎日の英語学習の時間は2種類に分けられます。英語で英語を学ぶ「English」の授業では、アメリカのカリフォルニア州のカリキュラムをベースとした学習を日本部所属の外国人英語教員が毎日95分を行います。レベル別に分かれた少人数制クラスで、より個人に適した内容の英語学習を提供しています。英語で他教科を学ぶ「イマージョンプログラム」では、国際部の教科専門の教員の指導のもと、P.E.(体育)、ダンス、アート、ミュージック、コンピュータなど、45分のスペシャルクラスを日替わりで受講します。授業内で多くの教員の英語に触れることで、多様な英語表現を学びます。



その他の学校生活

- Q. 宿題はどういったものが出ますか。**
- A. また、時間はどれくらい掛かりますか。
日々の学習習慣が身に付くよう、音読や漢字ドリル・計算ドリルなどの日本の学習の宿題を「学年x10分」の分量を目安に出しています。英語では授業内容を補完するために「30分以上」の分量を目安に宿題を出しております。
- Q. 学校では中国語を勉強しますか。**
- A. インリッチドクラスでは日本文化を大切にしながら英語学習を定着を目指すことに重点を置いているため、中国語の学習を行っておりません。本校内での学習を希望される方はアフタースクールに参加いただくことでChineseクラスを受講いただけます。
- Q. 学校給食について教えてください。**
- A. 専門の業者による自校給食を提供しています。栄養バランスはもちろんのこと、季節ごとのイベントや世界各地の特色に合わせたメニューが用意され、子どもたちが楽しみにしている時間のひとつです。
※アレルギーについてもご相談可能です。

上記の内容に加えて、ご質問がございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。

今後ともインリッチドクラスをよろしく願いいたします。

お問い合わせ：
上海リビングストーンアメリカンスクール・日本部・
日英バイリンガル小学部（インリッチドクラス）

HP：lasjapan.com
Mail：lasjapan@laschina.org